資　料

平成３０年度　第２回荒川水系渇水調整協議会（秋季定例会）

荒川ダム群等の現状と今後の見通しについて

浦山ダム（平成３０年１０月２３日撮影）

平成３０年１０月３０日

関 東 地 方 整 備 局

１．荒川４ダム等の現状

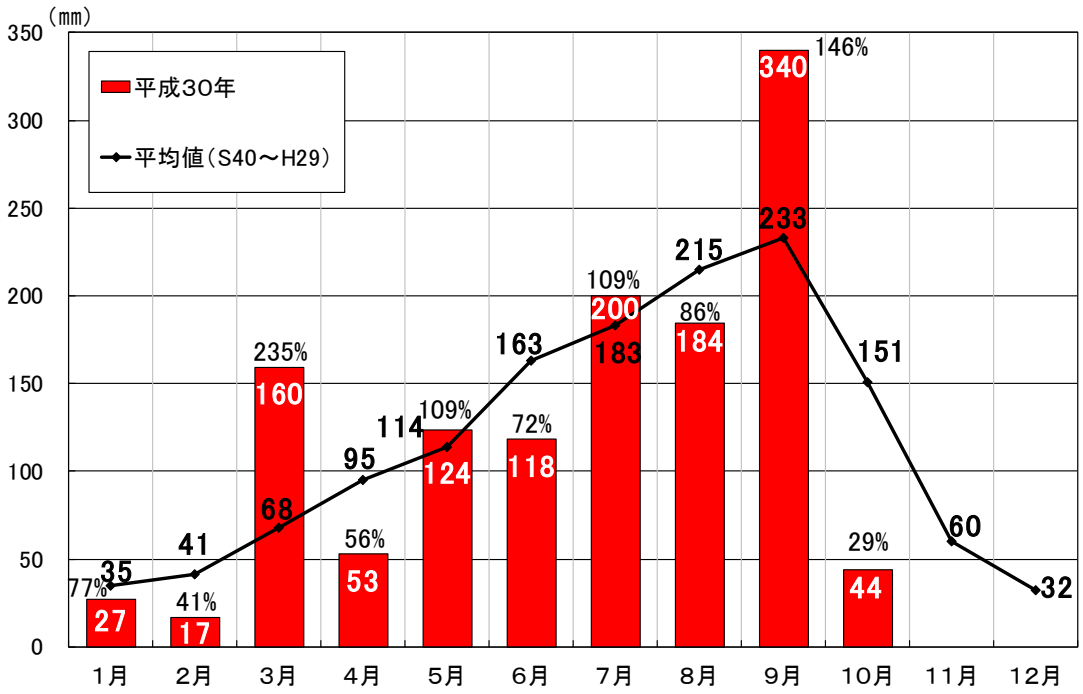
（１）秋ヶ瀬地点上流域平均降水量の状況（平成 30 年 10 月 28 日までの降水量）

今年はこれまで、1月、2月、4月、6月、8月の月降水量が平年を下回りました。

特に2月は 17mm で、平均値(昭和 40 年～平成 29 年)に対する割合は 41%、4月は 53mm で、平均値に対する割合は 56%、6月は 118mm で、平均値に対する割合は 72%となりました。

一方、3月は低気圧や前線などの影響により 160mm で、平均値に対する割合は 235%、9月は秋雨前線や台風第 21 号･第 24 号などの影響により 340mm で、平均値に対する割合は 146%となりました。

10 月は 28 日まで 44mm で、平均値に対する割合は 29%となっています。（図－１、表－１参照）



図－１　荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（平成 30 年の月別）

表－１　荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（主に渇水年との比較）

単位(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計	摘　　要
平成４年	26	15	118	136	117	250	87	177	63	285	52	29	1, 355	荒川夏渇水
平成５年	82	34	37	44	76	186	275	276	204	112	113	25	1, 464	〃
平成６年	42	44	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1, 191	利根川･荒川夏渇水
平成７年	24	25	111	44	129	239	177	109	180	73	24	0	1, 135	荒川冬渇水
平成８年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965	利根川･荒川冬夏渇水
平成９年	21	13	57	70	187	168	148	72	204	7	87	21	1, 055	利根川･荒川冬渇水
平成13年	98	17	98	30	179	120	69	279	444	247	67	9	1, 657	利根川夏渇水
平成24年	36	54	93	86	257	217	102	65	245	93	54	33	1, 335	〃
平成25年	35	18	37	152	36	172	94	77	238	327	17	46	1, 249	〃
平成28年	75	53	74	72	44	119	90	462	247	31	87	60	1, 414	〃
平成29年	24	10	73	67	67	70	218	263	138	488	13	7	1, 438	荒川夏渇水
平均値(S40-H29)	35	41	68	95	114	163	183	215	233	151	60	32	1, 390	―
平成30年	27	17	160	53	124	118	200	184	340	44	―	―	1, 267	―
平均値に対する割合(%)	77	41	235	56	109	72	109	86	146	29	―	―	91	―

※■：荒川取水制限実施月（一時緩和含む）　※秋ヶ瀬地点上流域面積：2, 021km2

（２）荒川４ダムの貯水状況（平成 30 年 10 月 29 日０時現在）

３月上旬から荒川４ダムの貯水量は平年を上回る貯水量で推移し、７月以降は、ほぼ夏期制限容量を保っていました。

９月 30 日から 10 月１日にかけての台風第 24 号による大雨で貯水量は回復し、平成 30 年 10 月 29 日０時の貯水量は 9,259 万㎥、貯水率 64%（貯水量の平均値（平成 22 年～平成 29 年）に対する割合は 117 %）となっています。（表－２、図－２参照）

表－２　荒川４ダム貯水量

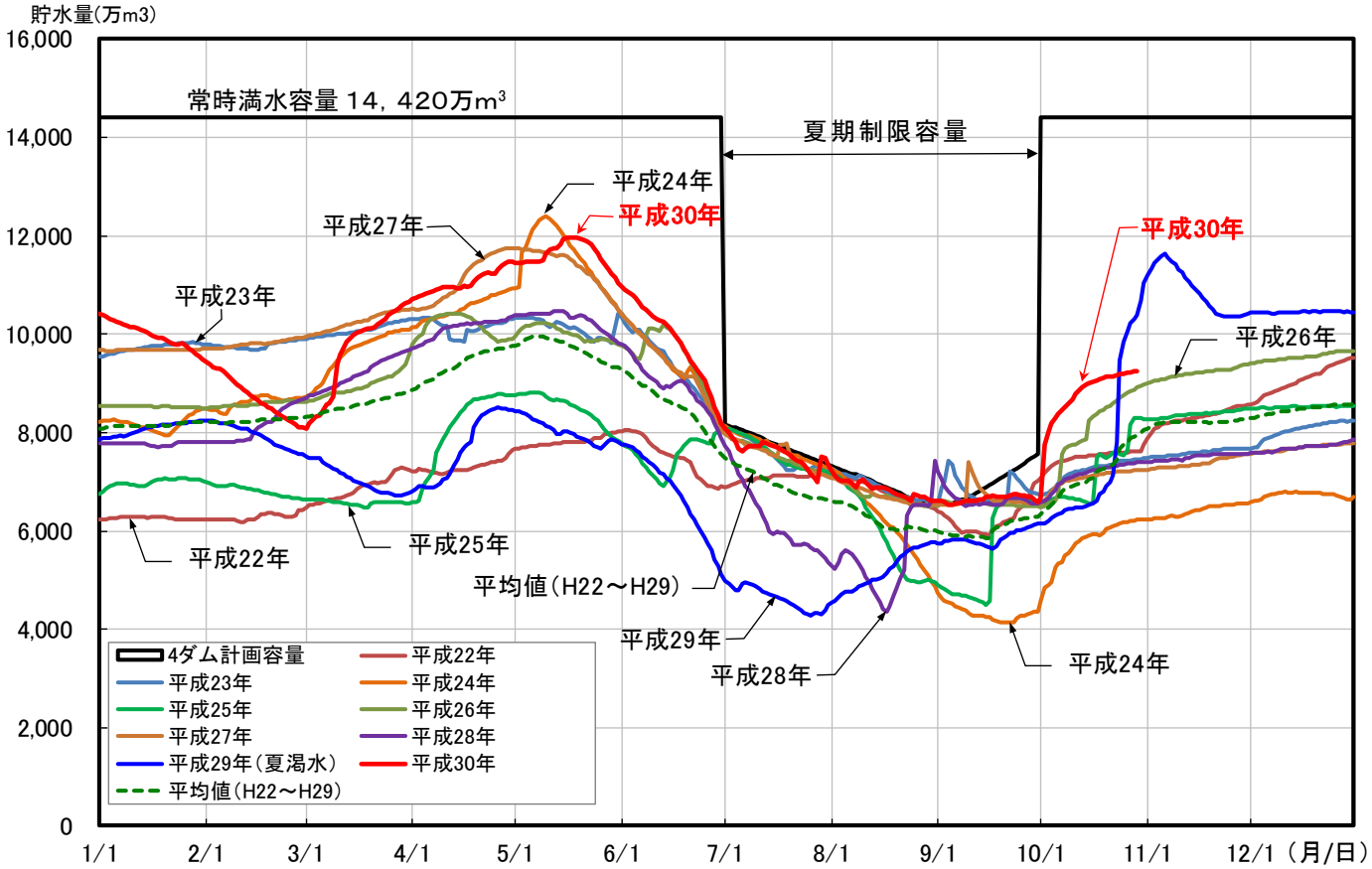
ダ　ム　名	有　効　容　量 (万m³)	貯　　水　　量 (万m³)	貯　水　率 (%)	前日補給量 (万m³/日)
二瀬ダム	２，０００	５４	３	２
滝沢ダム	５，８００	３，９００	６７	－６
浦山ダム	５，６００	４，２９１	７７	－５
荒川貯水池	１，０２０	１，０１４	９９	１
４ダム合計	１４，４２０	９，２５９	６４	－８
４ダム合計の平均値（平成22年～平成29年）		７，９３９	（平均値に対する割合 １１７%）	

※有効容量は、夏期制限容量

※貯水率は、夏期制限容量に対する貯水量の割合

※前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差（値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。）

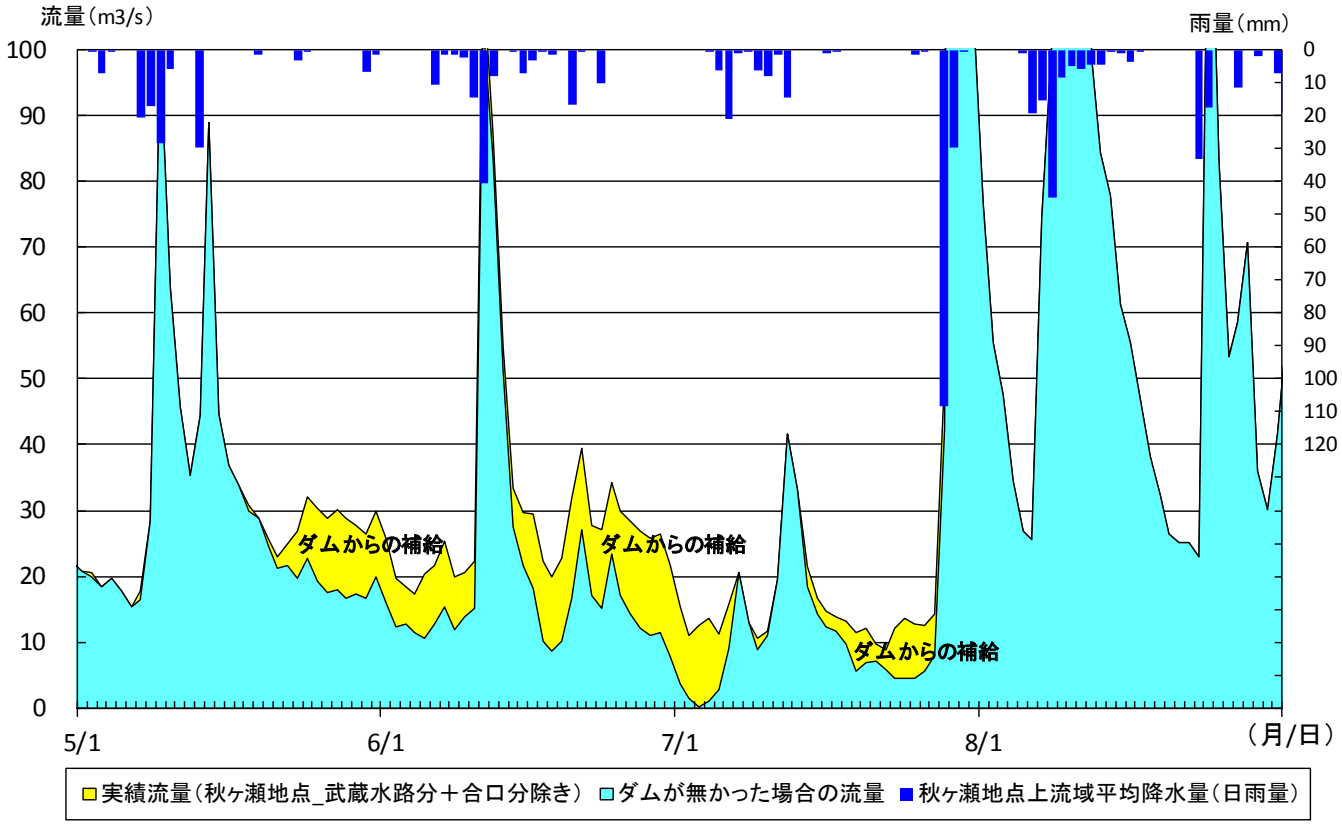
※二瀬ダムは９月より貯水池の堆砂対策の一環として、堆砂が進んでいる箇所において、土砂掘削工事を実施しています。そのため１２月末までの間、貯水位を下げています。



図－２　荒川４ダム貯水量図（平均値及び４ダム体制後の各年と比較）

３）荒川４ダムの補給状況

荒川４ダムの補給状況は、５月から７月までの３ヶ月間で総量約4,700万㎥の補給を実施しました。



図－３　平成30年　荒川流況（秋ヶ瀬地点流量）

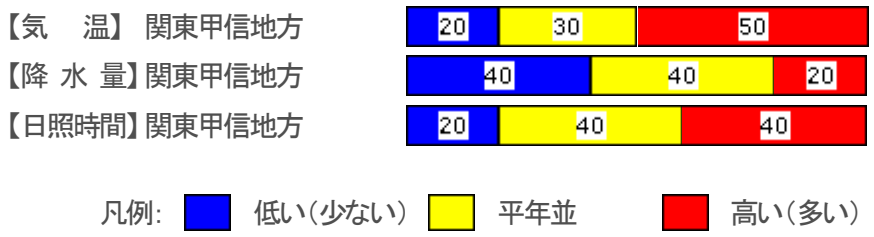
２．今後の見通し

（１）気象予報

平成 30 年 10 月 25 日気象庁発表の関東甲信地方の１か月予報(10 月 27 日から 11 月 26 日までの天候見通し)によると、平年に比べ晴れの日が多く、高気圧に覆われやすいため、向こう１か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多い見込みとなっております。また、10 月 24 日気象庁発表の３か月予報(11 月から１月までの天候見通し)によると、11 月、12 月、１月ともに「平年と同様に晴れの日が多いでしょう」という予想となっており、北からの寒気の影響を受けにくいため、向こう３か月の気温は高く、降水量は、ほぼ平年並の見込みとなっております。

なお、９月 25 日気象庁発表の寒候期予報（10 月から２月までの天候の見通し）によると、この冬は、「平年と同様に晴れの日が多いでしょう。」という予想となっており、この冬の気温は、北からの寒気の影響が弱いため、平年並か高く、降水量は、ほぼ平年並の見込みとなっております。

➢ １か月予報（平成 30 年 10 月 25 日発表）＜向こう１か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）＞



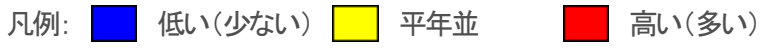
➢ ３か月予報（平成 30 年 10 月 24 日発表）＜向こう３か月の気温、降水量の各階級の確率（%）＞

【気　温】

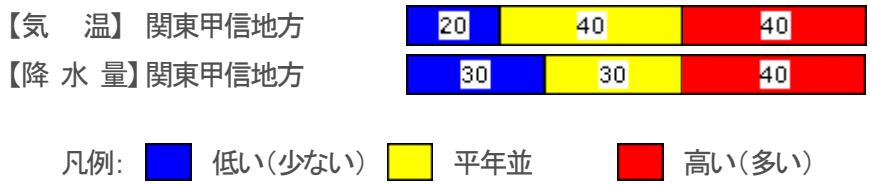
[関東甲信地方]

【降 水 量】

[関東甲信地方]



➢ 寒候期予報（平成 30 年９月 25 日発表）＜冬（１２月～２月）の気温、降水量の各階級の確率（%）＞



※寒候期予報は、10 月下旬の３か月予報時（平成 30 年 10 月 24 日発表）に新しい予測資料をふまえて寒候期の天候を再検討した結果、予報の内容に変更は無いとのこと。

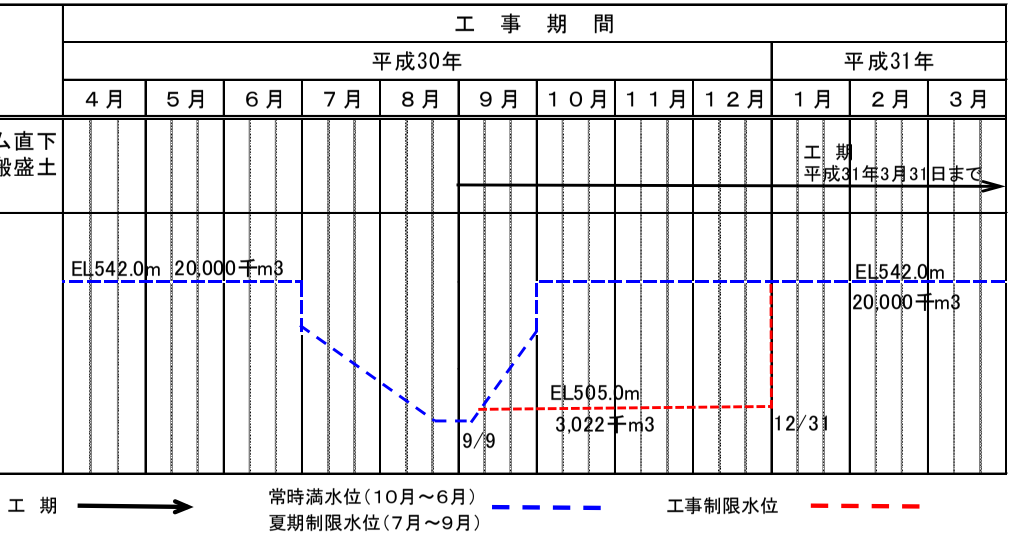
（２）ダムの工事に伴う貯留制限

荒川４ダムのうち二瀬ダムは、貯水池内の土砂掘削工事を実施しているため、有効容量2,000万㎥のうち302.2万㎥までの貯留制限となっていますが、12月下旬頃までには工事を完了させ１月からは貯留する予定です。

≪荒川　二瀬ダム≫

工事制限水位等について（実施中）

工事主体	ダム名	工事名	工事概要等	工事期間
二瀬ダム管理所	二瀬ダム	二瀬ダム土砂搬出工事	二瀬ダムに堆積した土砂の搬出を行い、ダム直下流への運搬置土、ダム下流の搬入先への運搬盛土を行う。	平成30年4月～平成31年3月31日まで
		制限貯水位　EL505.0m 制限期間　平成30年9月9日から平成30年12月31日		



３．今後の対応

- 今後は、荒川流域の降雨状況や都市用水の水利用を十分考慮して、既存施設等を広域的かつ効果的に活用し、きめ細かい運用を行っていきます。また、荒川ダム群の貯水量や降水量の状況、必要に応じて工事の進捗状況等の情報共有を引き続き、積極的に行っていきます。

- 荒川水系渇水調整協議会としては、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。